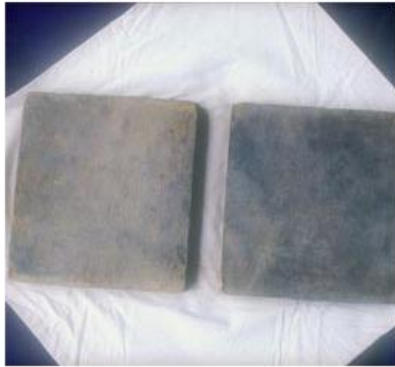




安養寺の裏山にある経塚群
安養寺裏山経塚群



指定区分	県指定史跡
読みかた	あんようじうらやまきょうづかぐん
所在地	倉敷市浅原(安養寺)
指定年月日	昭和35年8月23日
解説	<p>平安時代、末法思想の広がりにより、正しい経典を後世に残そうと、紙・粘土板・瓦等に写経したものを地中に埋めることが流行した。それら経典が土中に埋納された施設が経塚である。第1と第3経塚からは瓦経が出土し、第1経塚からの出土品は国の重要文化財に指定されている。第3経塚出土の願文(瓦)に應徳3年(1086)の紀年銘があり、平安時代後期の経塚であることが判明した。</p>
アクセス方法	JR倉敷駅から車で15分 / 倉敷ICから車で5分
公開状況	自由
設備	<p>トイレは駐車場、参道中間、社務所そばの3カ所あり</p> <p style="text-align: center;">   </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	安養寺裏山経塚群
よみかた	あんようじうらやまきょうづかぐん
しょざいち (所在地)	倉敷市浅原(安養寺)
していつひ (指定した日)	昭和35年8月23日
せつめい	平安時代(へいあんじだい)のころ、仏教(ぶつきょう)の教(おし)えをのちの時代に残(のこ)すため、紙・粘土板・瓦(かわら)にお経(きょう)を書いてを土の中に埋(う)めるならわしがありました。経塚(きょうづか)とは、その施設(しせつ)のことです。この第(だい)1経塚からはとても貴重(きちょう)な出土品(しゅつどひん)がたくさん出てきました。